

II 学校経営方針

1 教育目標

なかよく たのしく たくましく

2 本校の基本理念

「共生の理念」

誰もが互いの人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指し、障がいのある者も障がいのない者も一つの学舎の中で、相互に学び合い、認め合い、高め合う教育の機会と場を十分に保障していく。

3 本校に託されている夢

- 共生、共学の理念を、地域においても具現化すること
- 地域の特別支援教育の推進役となり、小中学校における充実を図ること

4 目標実現の基本方針及び重点指導事項

○なかよく…「ハロー」

同年代や異学年との関わりから地域の人たちとの関わりへと、人間関係を発達段階に応じて広げていく。

<重点指導事項>

- ・あいさつの習慣化
- ・小・中学部連携による交流学习への積極的な取組
- ・十日町小や他校との交流及び共同学習の充実

○たのしく…「レッツ・エンジョイ」

十日町・津南地域の人・もの・ことと関わり、豊かな経験を積み重ねることにより、将来に必要な知識技能を身に付け、自分への自信を深めていく。

<重点指導事項>

- ・生活年齢に応じた豊かな体験の充実
- ・ふるさと学習や地域を教室にした学習への積極的な取組

○たくましく…「レッツ・チャレンジ」

身近な人や生まれ育った地域のために、自分のできることを考え仲間や地域の人と実行することにより、学校生活及び地域での生活の充実に貢献し、自己有用感を高める。

<重点指導事項>

- ・基本的生活習慣の確立
- ・城ヶ丘や十日町・津南地域での学びを活かした、日常生活の充実と将来の地域における生活の創造

5 目指す学校の姿

□これまでの共生の理念に基づく教育を「継続」しつつ、新たな教育に「挑戦」する学校

(具体的な姿)

- ・共生の理念を十日町・津南地域全体に広げていく。
- ・まわりの人のために、生まれ育った地域のために尽くす。
- ・誰にとっても、住みやすく、暮らしやすい地域にしていく。

□いつでも、誰とでも働きたくなる学校

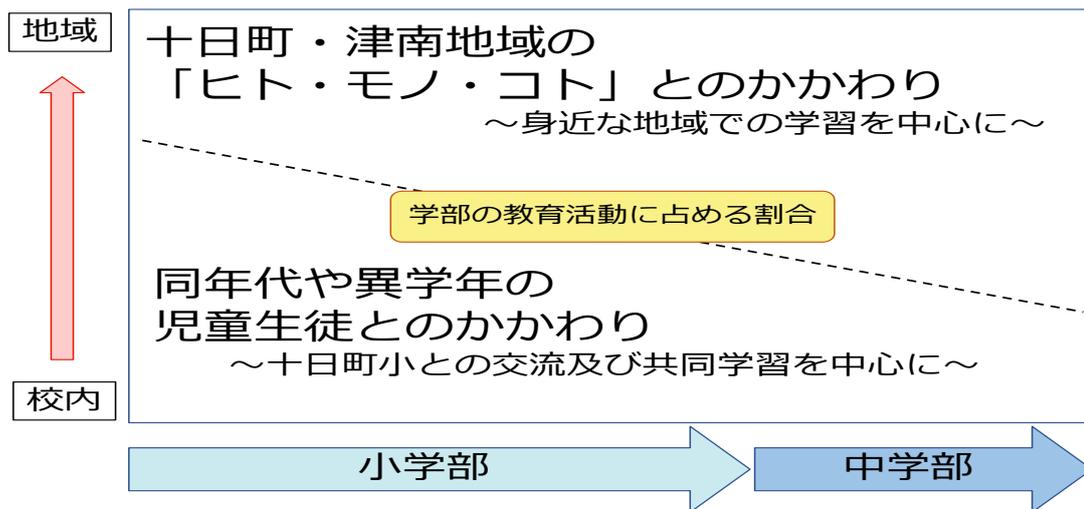
(具体的な姿)

- ・一人一人の強みや弱さを共有し、信頼関係のある居心地のよい職場環境である。
- ・互いに気軽にコミュニケーションがとれ、共通の目標を持って仕事ができる。
- ・互いの指導方法や教育観を大切にし、自分がやりたいと思う授業ができる。

6 「共生の理念」に基づく教育活動の取組方針

- (1) 下の図に示すように、小学部段階を中心に、十日町小学校との交流及び共同学習を中心とした同年代や異学年の児童生徒と関わりによって、対人関係を築く力や他者とコミュニケーションを行う力を育成します。(取組例1)
- (2) 小学部の高学年ごろから中学部にかけて、対人関係を築く力やコミュニケーション能力を活かし、生まれ育った十日町・津南地域の人たちとかかわり、自然や文化など地域の魅力を発見して発信し、地域の発展に貢献しようとする力を育成します。(取組例2)
- (3) 小学部と中学部が交流学習を積極的に取り組んでいきます。そして、仲間のために、後輩のために考えて行動することで、人の役に立ったり人から感謝されたり経験を積み重ねて自己有用感を育み、高めていきます。

このように「共生の理念」に基づき、校内から地域へ、そして、同年代や異学年の児童生徒とのかかわりを主とした教育から、生まれ育った十日町の「ヒト・モノ・コト」とのかかわりに重点を置いた教育へと実践することを基本方針としています。



<令和4年度の実践例>

■同年代や異学年の児童生徒とのかかわり ~十日町小学校との交流及び共同学習を中心に~

取組例 1

4年生との総合的な学習の時間での交流 昼休み交流

(下) 十日町小4年生が図画工作で作成したビー玉転がしのおもちゃで遊んでいます。



(上) 十日町小4年生と円形のソフトクッションを蹴合っています。
他に、かくれんぼをするグループもあれば、グラウンドでおにごっこをするグループもあります。

■十日町地域の「ヒト・モノ・コト」とのかかわり ~身近な地域での学習を中心に~

取組例 2

「地域・社会生活」の学習での学び

- 「地域・社会生活」とは、地域社会の中で、周囲とお互いに気持ちよく関わりながら、主体的に、また豊かに生きていく生活者として必要な資質・能力を育てます。
- 下の写真は、地域交流学習①(6/21) 十日町商店街の14店舗を、7班に分かれて訪問した様子です。「ショップバッジ」の製作について店主の方と打合せを行いました。



商店街の店主さんとの打ち合わせ